文部科学省認可通信教育

ばっけ

第109号
発　行　令和6年5月
放送大学秋田学習センター
TEL　018－831－1997

相談（カウンセリング）を利用するということ

放送大学秋田学習センター 学校医　　伏見　雅人

私はセンターの学校医として健康相談（カウンセリング）に応じています。本稿ではその意義について述べてみたいと思います。相談は大きく二種類に分けられます。一つはガイダンス性の高い相談で、もう一つはカウンセリング性の高い相談です。例えば入学や履修登録の際に必要な手続きがよく分からなくて相談する場合はガイダンス性の高い相談といえます。この場合は相談を利用する者（以下、相談者）の問題を解決するために相談に対応する者（以下、相談員）が情報を提供し、相談者がそれをもとに最良の選択をします。この相談は説明や指導を主体とします。これに対し、カウンセリング性の高い相談は、例えば「自分はどのような人間になればよいのか」、「自分の人生をどう切り開いて行けばよいのか」といった悩みに対し、その克服への一助として提供される心理的な支持といえます。このような悩みは簡単に答えを提示できるものではなく、相談員はあくまでも相談者自らが解決策を見いだすための手助けしかできません。私が対応するのはどちらかというと後者の相談です。この相談においては相談者が何を訴え、何を伝えようとしているのかをまず理解し、前述の通り相談員が拙速に結論を出して指示するのではなく、可能な限り相談者の自己決定を促す姿勢が求められます。

私は医師として診療する際はもちろん診断や治療を考えてみるわけですが、相談対応の際には「相談者が病気なのか、病気であれば診断は？」といったことはあまり考えず、まずは相談者がどのようなことに悩み、何を問題と感じているのか、何に困っているのかを理解するよう心がけています。ただし、悩みの背景や原因に何らかの病気が関係していると思われる場合もありますので、そのような場合には病院受診を勧めることもあります。なかには診断されて（病気が原因であるとわかって）安心する人もいます。また、いわゆる「情」と「理」とをバランスよく使い分けることも心がけています。「情」は人情味や情緒的な面を重視し、感情表現を豊かにした対応です。これにより相談者は受容され、共感してもらえたと感じることでしょう。しかし、一方で相談員は「理」、すなわち感情に流されず、理性的に対応する必要もあります。「情」に偏り過ぎると理性に乏しくなり、感情的対立やトラブルの危険性が高まります。逆に「理」に偏り過ぎると冷淡で情に欠け、受容や共感性に乏しい相談員と思われてしまいます。

人は悩みを抱えているときには、気持ち（心）の整理が未だ付いていない場合が多々あります。誰かに相談することによって、悩みの内容が明確になり、さらには悩みのために自身の心に湧き起った感情も明確になります。その結果、自身の心が安定を取り戻し、（心にゆとりが生まれ）、悩みや課題、状況にどう対処したらよいか自身で考えられるようになる、すなわち自己決定能力の回復につながります。皆様も相談の必要性を感じた際には遠慮せずにセンターの健康相談（カウンセリング）を利用してみてください。

☆伏見先生の健康相談・カウンセリングは月1回行っております。詳細は秋田学習センターまでお問い合わせください。

2023年度第2学期 ご卒業おめでとうございます！

秋田学習センターでは、２０２３年度第２学期をもって、教養学部生２９名、大学院生２名が卒業・修了されました。

教職員一同心からお祝い申し上げます。

４月６日（土）に秋田学習センターにおいて、学位記授与式が挙行されました。卒業生１１名、修了生２名が出席し、式は滞りなく終了しました。

学位記授与式の様子（学歌演奏）

学位記授与式　記念撮影

所長表彰

平成２６年度に制定した「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰表彰式を４月６日（土）の学位記授与式終了後に開催しました。

受賞された皆様、誠におめでとうございます。

学部において4コースを卒業された方

長谷川　榮　一 さん　　生活と福祉専攻、社会と産業コース、人間と文化コース、心理と教育コース

満80歳以上で学部を卒業された方

長谷川　榮　一 さん　　心理と教育コース

芳　賀　京　子 さん　　生活と福祉コース

エキスパートの認証を取得された方

佐　藤　満　雄 さん　　地域貢献リーダー人材、食と健康アドバイザー、データサイエンスリテラシー

※ご本人から同意いただいた方の氏名を掲載させていただいております。

倉林所長式辞

修了生・卒業生代表謝辞

2023年度第2学期　学位記授与式　修了生･卒業生代表謝辞

『オンラインと現実世界の両方で得た学び』

本日は、私たち修了生・卒業生のために、このような素晴らしい学位記授与式を開催していただき、ありがとうございます。

私はこの２年間、放送大学大学院修士課程の人文学プログラムで、宮本陽一郎先生のご指導のもと研究を行ってまいりました。研究は大変なこともたくさんありましたが、思い返すと、とても充実した時間を過ごしたように思います。

私が大学院への入学を検討していた２０２０年頃から、実際に入学した２０２２年までは、ちょうどコロナ禍の最中であり、世間的には大変な時期ではありました。しかしその影響を受けて、放送大学大学院の入学面接試験や、毎月行われるゼミなどは、全てオンラインで行われることになり、放送大学の本部から離れた場所に住む私のような学生にとっては、思わぬ恩恵を受けることとなりました。そして今、放送大学全体においても、ライブＷｅｂ授業や、Ｗｅｂ単位認定試験など、オンラインで完結する学びの形が整いつつあることを、肌で感じております。

しかし一方で、今まさにこの場で行われている学位記授与式のように、オンラインではなく現実世界で行われる行事やイベントの価値というものも、確かに存在するのだと思います。その事に関連して印象に残っているのが、秋田学習センターで、私の指導教員である宮本陽一郎先生の面接授業が行われた時のことです。それまでＺｏｏｍを通じてオンラインで話していた先生を実際に目の前で見た時に、「本物の先生がいる！」と感慨深く感じたことを、今でも鮮明に覚えています。これは、通学制の大学ではなく、メディアを通じて学びを行う放送大学だからこそ、経験できた感情であったと思います。

オンラインの良さと、現実世界における経験の価値と、２つの事を話して来ましたが、この２年間で私が感じてきたことは、どちらも学びには欠かせないということです。そして、その学びを継続できたのは、指導教員であった宮本陽一郎先生をはじめ、オンラインのシステムを整えてくださった本部の担当職員の方々や、研究に必要な図書の貸し出しや学生生活のサポートを行ってくださった、秋田学習センターの教職員の方々のご支援があってこそでした。直接顔を合わせたことのある方も、そうでない方も、私たち修了生・卒業生の学びを支えてくださった全ての皆さまへ、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

本当に、ありがとうございました。

２０２４年４月６日　修了生・卒業生代表　佐藤　諒

2023年度第2学期
修了生・卒業生の皆様からメッセージをいただきました♪

髙瀬 優子　－人間発達科学プログラム－

　コロナ禍において、２年間オンラインで研究指導を受けた私は、緩利誠指導教官に、初めて、お会いできたのが、口頭試問の日になりました。まとめきれない修士論文に悩む私を、いつも、温かく、励ましてくださり、追い込み時の苦しい時期も、緩利先生のアドバイスのおかげでのりこえることができました。
　本当に感謝しています。ありがとうございました。

佐藤 武夫　－生活と福祉コース－

　おかげ様で、ようやく卒業できることになりました。
　センターの皆様にはいろいろお世話になり、ありがとうございました。

R．H　－生活と福祉コース－

　働きながらの学生生活は想像以上の大変さでした。自分の人生にとって、この経験は大切な宝物です。
　ありがとうございました。

菅野 雅文　－心理と教育コース－

　私は４年前、コロナ禍の中入学しました。緊急事態宣言など厳しい時期でしたが、放送授業によって自粛中も自宅で一人黙々と進めることができました。その原動力となったのは学芸員、認定心理士、そしてエキスパートプランという資格取得の目標です。具体的な目標を設定して、興味のある分野に取り組んだ経験は今後も役に立つと思っています。途中、悩んだこともありましたが、振り返ると楽しく充実した大学生活でした。
　卒業後は学んだ知識や得た資格を活かし、社会で力を発揮していきたいです。

匿名希望　－心理と教育コース－

　秋田学習センターのスタッフの皆様のおかげで卒業までがんばることができました。知識を得ることのすばらしさを実感でき、幸せでした。大卒資格を次のステップアップに活かしたいと考えています。
　本当にありがとうございました。

小柳 永興　－人間と文化コース－

　７０歳を過ぎてからの入学でしたので４年間で卒業しました。若い時と違って時間はあるのですが、集中力がなくなっていました。もう少し深く学びたいという欲求が残りました。大学院の進学も考えていたのですが、英語力をもう少しつけてからと思っておりますが、私の人生残り少ないので、それを叶えるのが、これからの「学び」の指針と考えております。
　最後になりましたが、大学の先生、職員の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

佐藤 智一　－心理と教育コース－

　このたび卒業の区切りを迎えられたのは放送大学の優れた受講システムに加え、秋田学習センターの職員の皆様による円滑な対応のおかげと受け止めています。
　社会人として中堅の立場となり、今一度見聞を広げたいという興味から３年次編入をし、２年半での卒業となりました。引き続き学びの習慣を楽しみたいと思います。
　今後ともお世話になります。

A．K　－人間と文化コース－

　約１５年の時を経て再入学しました。前回の入学でやりたいコースが２つあり、その時に諦めた方を今回学ぶことに。あの頃と違い、手続きも放送授業視聴も通信指導、試験までＷｅｂでできてしまうシステムに、なんて楽になったんだと思いました。でもせっかくセンターがあるし、行かないのも学生っぽくないよな…とすでに面接授業の単位はあるのに申し込み、放送授業の先生に直接教わる事が出来たのはいい思い出。コロナ禍もあり、学生同士の交流がなかったのは少し淋しいけれど、楽しい学生生活でした。

T．K　－社会と産業コース－

　学びはじめて９年、今回は３度目の卒業となります。
　仕事中心に生きてきた私にとって、放送大学の幅広い学びは、物事を多面的に幅広い視野でとらえることにつながりました。何より共に学ぶ人達との出会いが刺激になりました。
　これからも好きな科目を学び続けたいと思っております。より良く高齢期を生きる為に。

匿名希望　－心理と教育コース－

　約３０年ぶりの勉強と試験は最初は頭がついていかず大変でした。それでも諦めずにコツコツと勉強に取り組み、ついに卒業を迎えられた事に喜びと達成感を感じています。
　働きながらの勉強をやり遂げられた自分に「よくがんばったね！」という言葉を贈りたいです。

藤田　歩　－心理と教育コース－

　心理学をもっと学びたいと思い、まずは認定心理士取得を目指して入学しました。心理学の様々な領域を学ぶ中で、次第に児童心理や発達の分野に興味が深まり、幼稚園教諭免許も取得しました。９年間の在籍の中で、学びがさらなる関心を生み、当初の予定にはなかった授業を数多く受けることにより、自分のキャリアがより拓けたように感じています。志のある方々との出会いも、良い刺激となり、放送大学で学べて良かったと思います。

T．K　－心理と教育コース－

　放送大学で何かのための学習ではなく、自分の興味あることを楽しく学ぶ事が出来ました。
　また、小学生の娘と一緒に「学生」をすることを楽しめました。ありがとうございました。
　再入学して学習を継続しますので、今後もよろしくお願いします。

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、ますますのご活躍を祈念しております。

2024年度第1学期
ご入学おめでとうございます！

２０２４年度第１学期入学者１７２名の皆様、ご入学おめでとうございます。
４月６日(土)、秋田学習センターにて「２０２４年度第１学期入学者の集い」が開催され、２４名の新入生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

入学者の集いの様子（学歌演奏）

【教養学部】

全科履修生	42
選科履修生	45
科目履修生	20
特別聴講生	48
合　　計	155

【大学院】

修士全科生	0
修士選科生	12
修士科目生	4
特別聴講生	1
合　　計	17

秋田学習センター入学者数
令和６年５月1日現在

今学期入学された方の中からお二人にご寄稿いただきました。

『学びのチャンス、もう一度』　　【選科履修生】佐藤　美佳子

今学期から放送大学の選科履修生となりました。憧れの大学生です。長年美容師として働き、子育て真っ最中ながら独立開業して５年がたちました。子どもたちも中・高生になり、生活面の手が離れたこの時期、そろそろ「家族のための私」だけではなく、もう一度私自身の人生を生きても良いころ合いではないかと思い、ずっと念願だった学びのチャンスに手を伸ばしました。部活動や進学に向けての勉強に頑張っている子どもたちの姿に感化されたこともあります。また、私が楽しんでいる姿を見せることで、子どもたちが「大人になっても楽しそう」と感じてくれたらいいなと思います。
放送大学での授業はほぼオンラインですので、不規則な仕事の合間を縫うにはとても助かるし、何度も繰り返し受講できるのも嬉しいです。本を読むのが大好きなので、教科書に記載されている参考文献などをどんどんたどって芋づる式に読みたい本が発掘されていくのも楽しいものですね。
放送大学の学生は年代別の資料を見ると５０代～７０代の方も多く在学しているので、いずれ子どもたちが大人になって手が離れたら、私も全科履修生になってみたいです。

『正看護師を目指して』　　【選科履修生】Ｙ．Ｏ

私は秋田市内の病院で働いています。准看護師の資格を取得してからは、仕事や子育てなど日々の生活に追われ、気がつけば今年で１０年が経っていました。今思い返すと、目まぐるしく、あっという間の１０年だったように思います。
経験年数１０年の看護師というと、中堅の部類に入るのかもしれませんが、私は常に「もっと知識、理解を深めたい。もっと今以上に自信を持って働きたい。」と感じていました。いつか進学して正看護師の資格を取りたい。そんな気持ちを後押ししてくれたのは、職場の先輩方でした。
私の職場には、准看護師から放送大学で単位取得後、通信教育で進学し、正看護師になった先輩が何人もいます。みんな尊敬する看護師です。私も先輩方の様にこの放送大学でしっかりと学び、正看護師という夢に向かって頑張りたいと思います。

客員教員退任のご挨拶

令和６年３月末をもちまして、若狭正彦先生が客員教員を退任されました。５年間に渡りご尽力いただきました。改めてお礼申し上げます。
※退任にあたり、若狭先生よりメッセージをいただきました。

秋田大学教授　若狭　正彦

いつでも。どこでも。

令和元年４月から令和６年３月末までの５年間、客員教員として放送大学秋田学習センターに関わることができ、多くの事を学び感じ取ってまいりました。初年度、初めて参加した「入学者の集い」において、入学されている方々の幅広い年齢層、色々なバックグラウンドの方々、それぞれが学ぶことに対して明確な目標を掲げて参加されている姿を拝見し、身の引き締まる思いをしたことを今でも覚えております。

５年間の中で記憶に残っていることの一つとして、面接授業での出来事があります。私は医学部保健学科で高齢者に対するリハビリテーションを専門にしていることもあり、日本におけるこれまでの高齢化社会への取り組みの一つであった「高齢者保健福祉推進十か年戦略（ゴールドプラン）」について紹介説明をいたしました。無事（？）に講義前半が終了し、休憩時間に入ったところ、講義に参加されている受講生が、歩み寄りこう発言されました。「先生、このゴールドプランは私が県庁で働いているときに行ってきたことです。懐かしく聞いておりました」と。一気に嫌な冷や汗が湧き出てまいりました。私の専門は、理学療法士として老化による身体的運動機能低下に対するリハビリテーションであり、政策の事は専門外。授業のひとコマ程度しか準備されていなかった資料に、とても恥ずかしい思いをしたことを今でも鮮明に覚えております。色々なバックグラウンドを持つ受講生がいる空間、生徒間で、生徒と教員間で刺激し合いながら学ぶ、それが放送大学の魅力の一つであると思います。

そのような形で始まった放送大学ですが、この５年の間で色々なことが起こりました。２年目の令和２年には世界中がコロナウイルス感染のパンデミックが起き、対面での授業が制限され、学びのスタイルが１８０度変わりました。令和４年２月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、令和６年の今もなおこの戦争は終わる兆しを見せておりません。ロシア軍による侵攻により、学べる環境のない困難な状況に置かれている子供たち、地下の薄暗い空間で、ネットを介しての授業風景などニュース等で目にしました。そして今年の正月に起こった能登半島地震。安全な生活の場、教育の場を求めての集団避難。改めて「いつでも」「どこでも」学ぶこと・学べる事の素晴らしさを痛切に感じております。放送大学の大学歌の一節には「♪生きるとはまなぶこと。まなぶのはたのしみ♪」、「生きるとは知ること。知ることはよろこび♪」このような歌詞があります。まさに「いつでも」「どこでも」学べるという環境は平和に生きていくためにも重要であり、喜びでもあります。

「当たり前の事」が何かのきっかけで「当たり前の事ではなくなる」からこそ、日々、色々な事に感謝して生きていなかければならないと思います。こうして色々なことに気づくことが出来、とても充実した５年間を過ごすことができました。これまでありがとうございました。末筆ながら放送大学秋田学習センターの益々のご発展をお祈り申し上げます。

新任客員教員のご挨拶

秋田大学准教授
浅野　朝秋

皆さん、初めまして。本年度客員教員を務める浅野です。私は作業療法士で１０年ほど精神科や介護老人保健施設などで、認知症の方を対象としたリハビリテーションを行っていました。私が仕事を始めた平成１０年頃は、まだ認知症の方のリハビリテーションは手探り状態で、目の前の患者さん達にいったい何をすればいいのか、試行錯誤を繰り返していました。それが縁か、現在は認知症の方のリハビリテーション（生活支援）の研究を秋田大学医学系研究科で行っています。

認知症が進行すると、自ら記憶を想起してその内容を表出し、他者と共有することは難しくなります。しかし外部から、その人の心の琴線に触れるような刺激が与えられると、饒舌に昔のことを語りだすことがよくあります。そうなればしめたもので、周囲の方もその方がどのような方なのか理解が深まり、適切なケアが受けられる可能性が高まります。その刺激は言葉とは限りません。またそれぞれの人生が異なるように、適切な刺激は個々人で異なるのが通常です。それを職人芸ではなく、誰もがある程度効率よく見つけるにはどうしたらいいのか？　そんなことを研究しています。

父親がクラシック音楽好きだった影響で、子供のころからクラシック、歌謡曲、ポップス、ロックなんでも聴いていました。特に１９８０年代や１９９０年代の洋楽は大好きで今でもよく聴いています。自分が認知症になった時には、演歌ではなくこれらの音楽を使って刺激してくれればいいなと願っています。何しろ、生まれも育ちも生粋の秋田県人なので、なかなかそこにはたどり着けないとは思いますが。

☆ゼミ「認知症はどこまで予防できるのか」を月１回開講しております。

■機関紙『ばっけ』第107号に掲載しました客員教員　北島正人先生の「今どきの子どもは大変・・・」が、ONAIRweb【キャンパス×教員】に掲載されました。
■機関紙『ばっけ』第108号に掲載しました倉林徹所長の「『学ぶとは何か』に思うこと」が、ONAIRweb【キャンパス×教員】に掲載されました。

■秋田学習センター所属の全科履修生　高橋勝彦さんの寄稿文「畳まれて、伸ばされて」が文部科学教育通信578号「私の放送大学」に掲載されました。

放送大学ウェブマガジン ONAIRweb をご覧ください。

文部科学教育通信 は、図書室で閲覧できます。

面接授業のご案内

面接授業とは、学習センターにて直接講師から指導を受ける授業です。また、学生同士の交流・啓発の場としても広く活用されています。

授業は全８回で、連続する土曜・日曜の２日間で集中して行います。全科履修生は、卒業するために面接授業またはオンライン授業の単位を２０単位以上修得する必要があります。

※「共修生」として、大学院生・一般の方も聴講できる制度がありますので、お問い合わせください。

受講時の注意事項

・当日は授業開始時刻に遅れないように入室願います。
・あらかじめシラバスで【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】をご確認ください。
・【教科書】が指定されている科目は、各自で用意し、当日必ずお持ちください。
・【参考書】は必ず購入しなければならないものではありませんが、授業を理解するうえで参考になるものです。学習センターの図書室で閲覧できるものもありますので、ご利用ください。
・秋田学習センターには食堂・売店はありません。秋田大学構内の大学生協も営業は保証できませんので、昼食は各自でご用意ください。
・面接授業を受講する場合のみ、秋田大学手形キャンパス構内の駐車場を利用できますので、路上駐車などは絶対に行わないでください。

BYODについて

2024年度第１学期より、学習センターに設置の「面接授業用のパソコン」が撤去され、BYOD（自分用PC持ち込み方式）で授業を行っております。

《受講前の確認事項》

①必要な端末・ソフトウェアの確認

受講に必要なパソコン等の端末の種類やソフトウェアについて、シラバスにて必ず確認してください。

②Wi-Fiの申請・接続設定

学習センターの無線LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の申請手続きを行う必要があります。（下記参照）

【2024年度第１学期BYOD科目】

日　程	科　　目　　名	講師名
4/20･21	プレゼンテーションの理論と実践 ※終了しました	加藤　浩
6/8･9	Ｚｏｏｍと情報技術の基礎	横山 洋之
7/6･7	心理学実験Ⅰ	中野 良樹

◆学習センター内でＷｉ-Ｆｉを利用する方法◆

① システム WAKABA「放送大学自己学習サイト」の「情報セキュリティ研修(学生用)」（50分程度）を受講後、小テストに合格し「修了証」を入手する。
② 「無線LAN利用申請書」に必要事項を記入し、取得した「修了証」とともに所属学習センターの窓口へ提出する。
③交付されたＩＤとパスワードを入力してＷｉ-Ｆｉ接続する。
※ 交付までには、１週間ほどかかりますので余裕を持って申請してください。

追加登録について

空席がある科目については、追加で募集を行っています。秋田学習センター開設科目の追加登録方法は、以下のとおりです。

《学習センターの窓口で申請》

科目追加登録申請書・学生証・授業料をご持参ください。

（授業料は、おつりのないようご準備願います。）

授業料は
１科目 6,000円です

《郵送による申請》

科目追加登録申請書・学生証のコピー・授業料・返信用封筒（84円切手貼付・宛名明記）を同封のうえ、**現金書留**にて郵送してください。

■ ただし、当該面接授業開講日の１週間前の17:00までの受付となります。
また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。

■ 申請書は学習センターにあります。放送大学ウェブサイトからもダウンロードできます。

■ なお、追加登録の受付方法は各学習センターで異なりますので、当該学習センターへお問い合わせください。

【追加登録を受け付けている科目一覧】

科目区分		科目名	担当講師	開講日
人間と文化	専門	ルネサンスの社会史	河原 温	5月11日(土)・12日(日)
自然と環境	専門	ヒトと生物学	石井 照久	5月11日(土)・12日(日)
心理と教育	専門	心理検査法基礎実習	木村 久仁子	5月18日(土)・19日(日)
人間と文化	専門	ロシア文学を読む	長谷川 章	5月18日(土)・19日(日)
生活と福祉	専門	障害理解とリハビリテーション	菊地 翼	5月25日(土)・26日(日)
社会と産業	専門	市民生活と保険法	李 鳴	6月 1日(土)・ 2日(日)
社会と産業	専門	近代日本の１００年ー外交と内政	中澤 俊輔	6月 8日(土)・ 9日(日)
情報	導入	BYOD Zoomと情報技術の基礎	横山 洋之	6月 8日(土)・ 9日(日)
生活と福祉	専門	暮らしの中の感染予防	杉山 令子	6月15日(土)・16日(日)
人間と文化	専門	ドイツ・オーストリア文学	中村 寿	6月22日(土)・23日(日)
外国語	基盤	英語の文章表現を学ぶ	中尾 信一	6月29日(土)・30日(日)
自然と環境	専門	食料危機と環境問題に立ち向かう	村上 英樹	7月 6日(土)・ 7日(日)
心理と教育	専門	BYOD 心理学実験１	中野 良樹	7月 6日(土)・ 7日(日)

秋田をまなぶ講座シリーズ2024

放送大学秋田学習センター
秋田を知る。
連携セミナー

開催日程が決まりました！

今年度は、７月６日（土）の能代市から始まり、全３回開催する予定です。お申し込み方法などは、同封のチラシや秋田学習センターウェブサイトで確認してください。皆様のご参加をお待ちしております。

第1回
■7月6日(土)
13:30～

「日本海海運と能代湊の発展」
会場:能代市立能代図書館（能代市）
講師:渡辺　英夫　氏（秋田大学名誉教授）
定員:30名

第2回
■9月7日(土)
13:30～

「『おくのほそ道』最北の地・象潟」-ことしは芭蕉生誕380年-
会場:金浦公民館（にかほ市）
講師:齋藤　一樹　氏（にかほ市教育委員会文化財保護課専門員）
定員:50名

第3回
■10月19日(土)
13:30～

「秋田市周辺に残る田村麻呂伝説」
会場:きららとしょかん新屋図書館（秋田市）
講師:志立　正知　氏（秋田大学名誉教授）
定員:30名

※お申し込みは、同封のチラシ裏面の「FAX受講申し込みシート」でお願いします。

2024年度第2学期学生募集について

１０月入学生を６月１０日から募集します！

放送大学の入学資格は学ぶ意欲です！放送大学はあなたの『意欲』を応援します！学生の皆様からも、お近くの方々へ放送大学の特色を発信していただきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第１回募集期間
2024年6月10日(月)9:00 ～ 8月31日(土)

第２回募集期間
2024年9月1日(日) ～ 9月10日(火)17:00

司書教諭の資格取得を目指す皆様へ

募集要項は秋田学習センター窓口で配布しています。
放送大学ウェブサイトからも募集要項の請求ができます。

出願受付
2024年5月1日(水) ～ 5月31日(金)（郵送必着）　※インターネット出願不可。出願には資料請求が必要です。

通信指導、単位認定試験について

『学生生活の栞』学部P63～P77　大学院P63～P77

通信指導は学期の前半に一定の範囲で出題され、**期限までに提出**し**合格**すると、単位認定試験の受験資格が得られます。**未提出**または**不合格**の場合は受験できません。

＜提出期間＞

Ｗｅｂ通信指導による提出の場合

5月8日(水)10:00　～　5月29日(水)17:00

郵送による提出の場合

5月15日(水)　～　5月29日(水)　必着

「Web通信指導」で通信指導の問題を提出した場合は、郵送による提出は不要です。提出しても無効となります。

通信指導の問題

通信指導の問題は、（一部の科目を除いて）印刷教材と一緒に発送されます。発送状況は、システムＷＡＫＡＢＡ「教務情報→学生カルテ→教材発送情報」から確認できます。

まだ問題が届いていない場合、科目登録した科目と異なる科目の問題が届いた場合、落丁等があった場合は学生サポートセンター（☎：043-276-5111）へ必ず連絡してください。

通信指導の添削結果

６月末～７月上旬に返送されます。

通信指導の添削結果が、択一式科目は７月８日(月)、記述式科目は７月１１日(木)までに届かない場合は、学生サポートセンター（☎：043-276-5111）へ連絡してください。

通信指導の合否結果

添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知（受験票）」によって通知されます。

７月５日(金)になっても単位認定試験の受験票が届かない場合、あるいは紛失した場合は、学生サポートセンター（☎：043-276-5111）へ連絡してください。

２０２４年度第１学期単位認定試験の受験方法について

２０２４年度第１学期の単位認定試験は、Ｗｅｂ受験方式により実施します。
（一部科目のみ郵送受験方式で実施します。）

＜試験期間＞

Ｗｅｂ試験

択一式科目	7月14日(日)9:00　～　7月22日(月)17:00
記述式・併用式科目	7月14日(日)9:00　～　7月18日(木)24:00

郵送試験

すべての出題形式	7月14日(日)　～　7月18日(木)　必着

Web受験方式

■Ｗｅｂ単位認定試験システムにアクセスして受験します。
■試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。

再確認！

１科目５０分の制限時間があります。（郵送受験科目除く）
受験開始ボタンを押すと５０分のカウントダウンが始まります。
受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。
一時停止することはできません。
受験は１科目１回のみです。

集中できる環境を整えてから受験しましょう！

郵送受験方式

チェック　科目が追加されました！

正多面体と素数('21)　日本美術史の近代とその外部('18)　量子化学('19)　1539582行政学講説('24)

のみ郵送受験方式で実施します。（自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法）
※７月上旬ごろに大学本部から送付される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、試験期間内に郵送で答案を提出します。

郵送受験方式科目の答案提出は**7月１８日(木)必着**です。
余裕をもって提出してください。

Ｗｅｂ受験が困難な方へ

『学生生活の栞』学部P69～P70　大学院P69～P70

自宅にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、Ｗｅｂ受験が困難の方は、申請により学習センターで受験することができます。

※学習センターで受験する場合は「授業科目案内」およびシステムＷＡＫＡＢＡに記載の試験日・時限に受験する必要があります。なお、個別に学習センター受験日時の調整をお願いすることもありますので、ご承知おきください。

＜申請方法＞

システムＷＡＫＡＢＡで変更の場合

「教務情報　→　変更・異動手続　→　単位認定試験受験場所変更」

郵送提出の場合

単位認定試験受験場所変更願を郵送提出。
（『学生生活の栞』巻末の様式をご利用ください。）

＜受付期間＞

第１学期の単位認定試験から変更する場合

２０２４年４月１日(月)　～　５月２４日(金)　**※郵送提出の場合は期限内必着**

秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験版の操作機会提供について

＜秋田学習センターで「Web単位認定試験体験会」開催します！＞

日時

①6月28日(金)10:00～12:00　②6月28日(金)14:00～16:00
③6月29日(土)10:00～12:00　④6月29日(土)14:00～16:00
⑤6月30日(日)10:00～12:00　⑥6月30日(日)14:00～16:00
※各回とも同じ内容です。空席のある場合は、複数回の参加も可能です。

定員

各回とも５名（定員を超えた回については個別に日程変更をお願いする場合があります。）

場所

秋田学習センター実習室

予約方法

参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口または電話(018-831-1997)で事前予約してください。

パソコン操作が不安な方はこの機会にぜひご参加ください。特に「単位認定試験受験場所変更願」を提出し、秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。

Web単位認定試験システム体験版

『学生生活の栞』学部P70～71　大学院P70～71

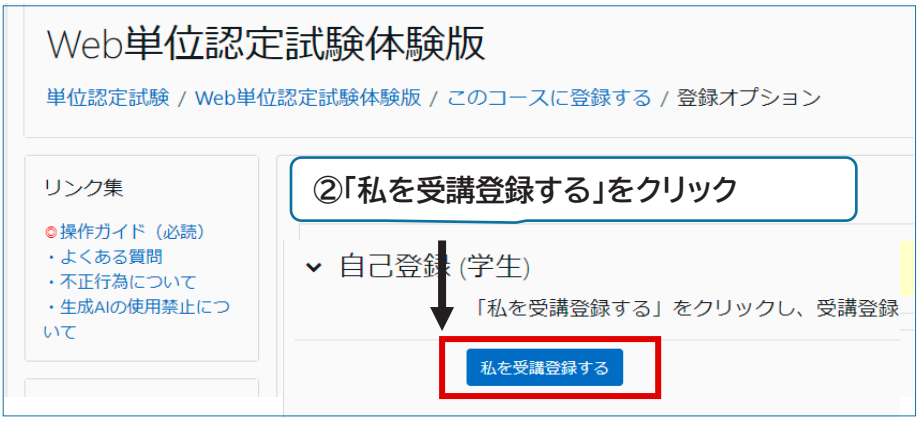
体験版で、ログインから解答提出までの操作の流れを体験できます。
受験に使用する予定のパソコン等から、試験期間前までに、必ず体験版で操作方法を確認してください。

＜Web単位認定試験のアクセス方法＞

本学ウェブサイト上部、＞在学生（WAKABA）をクリック後、「システムWAKABA（教務情報システム）」をクリック（ログイン）して、学内リンクからアクセスしてください。

＜Web単位認定試験システム体験版のアクセス方法＞

Web単位認定試験システムの中には、操作練習用の科目「Web単位認定試験システム体験版」があります。



新入生の方および初めてWeb受験をされる方へ

■システムWAKABAにログインがまだの方は、早めにログインし、パスワードの変更をしましょう！

■ログインIDとパスワードは、入学許可書に記載されています。

■しばらくログインされていない方は、IDおよびパスワードの再確認をしましょう！

■Web単位認定試験システム体験版の操作確認は必ずしましょう！

■操作ガイドは必ず確認しましょう！（ダウンロードして保存・印刷するなどしてください。）

システムWAKABA(教務システム)について

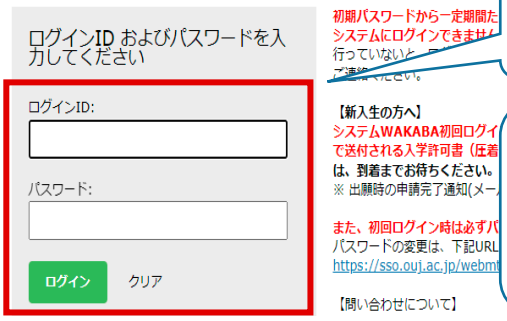
『学生生活の栞』学部P109　大学院P104

放送大学では学生の学修をサポートするため、教務情報システム(システムWAKABA)など、インターネットを利用した各種情報システムを提供しています。ログインIDおよびパスワードは、入学許可書に記載されています。

システム利用再開や変更したパスワードを忘れた場合は、秋田学習センター(☎018-831-1997)または、学生サポートセンター(☎043-276-5111)へ連絡してください。

Ｗｅｂ単位認定試験でログインする際もシステムＷＡＫＡＢＡのパスワードが必要です。試験期間前に必ずお確かめください。

放送大学 認証システム



ログインIDはハイフン(－)無しの学生番号10桁
初期設定パスワードは西暦生年月日の8桁

入学許可書が届いたら初期パスワードを変更してください。
新しいパスワードの条件
■8文字以上であること
■ログイン名を含まないこと
■英字、数字がそれぞれ一文字以上含まれていること

キャンパスメールについて

『学生生活の栞』学部P111　大学院P106

※定期的に確認するようにしてください。

「キャンパスメール」(学生番号@campus.ouj.ac.jp)は、Webブラウザを利用した電子メールシステムです。

■放送大学本部および学習センターからの修学関連事項の連絡。
■学生から放送大学本部および学習センターへの連絡手段。
■メール機能としての活用。
■緊急時のお知らせや面接授業(Zoomの招待URL)など、大事なお知らせを配信します。

視聴学習室・図書室の利用について

『利用の手引』P5

■視聴学習室・図書室を利用の際は、事務室窓口で受付をしてから利用してください。
■荷物はロッカーに入れ、学習に必要なものと貴重品のみ持参のうえ、入室してください。
■視聴用ヘッドホンの利用を希望される方は、図書受付に申し出てください。
　なお、ご自身のヘッドホン持参を推奨します。
■視聴学習等が終了したら、資料および貸出用ヘッドホンは返却台に戻し、学生証を受け取ってお帰りください。

インターネット視聴用パソコンを自由に利用して授業を視聴できます。また、2018年度までに開設された科目は、放送教材(CD／DVD)で視聴することもできます。
■視聴したい場合は、図書受付で手続きをしてください。
■視聴用パソコンの利用は、放送授業インターネット配信の視聴のみです。

放送教材の郵送貸出について

『利用の手引』P6～7

ＢＳ放送が受信できないまたはインターネット環境がない等、ご家庭に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（ＣＤ／ＤＶＤ）を郵送にて放送大学本部からご自宅に取り寄せることができます。

貸出できる放送教材

学期の初めから単位認定試験期間終了まで
- ・履修している科目
- ・再試験を受験する科目
- ・特別講義

単位認定試験期間の翌日から学期終了まで
- ・開講中（1学期は閉講後再試験科目を含む）のすべての科目
- ・特別講義

貸出期間と貸出枚数

- ・貸出期間　20日間
- ・貸出数　　5枚以内

※上記の日数には放送大学からの発送日および返却到着日を含みます。

学習センター開所時間のお知らせ

『利用の手引』P2

≪ 開 所 時 間 ≫

曜　　日	利用時間	視聴学習室・図　書　室	事務室窓口受付
火曜　～　日曜	午前	9:30～12:00	9:00～12:00
	午後	13:00～17:30	13:00～17:30

※１２：００～１３：００は、昼休みおよび消毒作業時間となります。

来所の際は、必ず事務室窓口で受付を行ってください。
視聴学習室・図書室の利用、ゼミの参加、面接授業の追加登録、単位認定試験の受験および証明書の発行申請時に事務室窓口にて、学生証を提示してください。

学生証について

『学生生活の栞』学部P18～20　大学院P24～26

学生証は、視聴学習室・図書室の利用、ゼミの参加、面接授業の追加登録、単位認定試験の受験（センター受験）、各種証明書の発行申請時に必要です。所属学習センター窓口で、交付を受けてください。

学生証は、学習センターの事務室窓口にて受け渡しを行っております。

４月に新規入学・再入学・継続入学された方

→入学許可書をご持参ください。

有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方

→期限切れの学生証をご持参ください。
【有効期限】　全科履修生２年間　・　選科履修生１年間　・　科目履修生半年間

今後のスケジュール

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1日　夏季集中科目履修生(司書教諭)出願受付開始　（～5/31）
ライブWeb授業開始（～8/31）
11・12日　面接授業　「ルネサンスの社会史」
「ヒトと生物学」
8日　通信指導受付開始（Web）
15日　通信指導受付開始（郵送）
18・19日　面接授業　「心理検査法基礎実習」
「ロシア文学を読む」
25・26日　面接授業　「障害理解とリハビリテーション」
29日　通信指導提出期限(郵送：本部必着、Web17：00まで)

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

1・2日　面接授業　「市民生活と保険法」
8・9日　面接授業　「近代日本の100年－外交と内政」
「Zoomと情報技術の基礎」
10日　第2学期学部、大学院修士選科生・科目生出願受付開始（～9/10）
15・16日　面接授業　「暮らしの中の感染予防」
22・23日　面接授業　「ドイツ・オーストリア文学」
28～30日　秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験会(第1回～6回)
29・30日　面接授業　「英語の文章表現を学ぶ」

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6日　公開講座　「日本海開運と能代湊の発展」(会場：能代市)
6・7日　面接授業　「食糧危機と環境問題に立ち向かう」
「心理学実験1」
14～22日　学部・大学院単位認定試験（Web受験方式）
※記述・併用式科目は18日　24：00まで
※択一式科目は22日　17：00まで
14～18日　学部単位認定試験(郵送受験方式)　※18日必着

■　・・・閉所日
□　・・・通信指導提出期限
■　・・・単位認定試験日
(7/14～7/22)

8月

8日　卒業研究新規履修申請（～8/15必着）
11～15日　センター閉所日（夏季臨時閉所）
15日　第2学期科目登録申請受付（～8/30郵送、～8/31Web）

予定は変更する場合もありますので、秋田学習センターウェブサイト等 でご確認ください。